

(個人用)

行政視察等報告書 (個人用)

令和7年3月28日

知立市議会議長 様

|   |                     |
|---|---------------------|
| 報告者   | 岩城道雄                |
| 日時  | 令和7年3月26日(水)～28日(金) |
| 視察(研修)場所  | 石川県金沢市、輪島市          |
| 目的  | 能登半島地震復興支援状況        |
| <p><b>【概要】</b></p> <p>能登半島地震から半年がたち、復興の現状を知り、今後の知立市の防災対応の参考にできる点を学ぶため行政視察に参加した。</p> <p>まずは金沢市で、中小機構の現地代表の方々から、被災時の機構の対応についてレクチャーを受けた。中小機構が全国規模の災害対応窓口を作り災害救援に当たってきたことにまず驚いた。そして災害発生時の被災状況を聞き、対応と課題を聞いた。政府系の震災対応機関が全国的に存在し、そこが最前線の救済対応にあたっていることは心強いとともに、その活動を、存在をアピールする必要性を感じた。今回は金沢市に本部があり、被災地が能登半島であり、まずは、道路の被害の把握に努め、さらに復旧への道筋をつけながら石川県、福井県の復旧対策本部との連携を作っていく困難に直面しながら、少数の職員で復旧活動に尽力した様子を聞いた。</p> <p>次に地震の被災後、続いて起きた大雨により河川の氾濫の被害に見舞われた地区に移動し、今も現地で復旧活動に従事している民間ボランティア拠点の視察を行った。地元小学校の体育館内にテントを張り、今も訪れるボランティアへの対応、当日の活動紹介、宿泊場所の確保、二次被害の防止の必要性にも思いをはせた。</p> <p>二日目は、能登の朝市、地震後発生した火災により跡形もなく全焼し、更地になっている能登朝市跡地を視察し、復興の一步を踏み出している、商業施設内の仮朝市を見学した。</p> <p>多くの人の協力もあり、輪島市内に設けられたボランティアセンターでの活動を知った。ボランティア活動の中で、技術系ボランティアと呼ばれる、工</p> |                     |

事機材、ユンボ、等大型機械を持参して活動する方から、被災時の災害復興体制の混乱振りを聞きもした。

最後にボランティア活動拠点を運営しながら、復興まで活動を休止しない仕組みを作るグループの拠点を視察した。大きな民家を中心に、簡易な建物ながらお風呂などを個別に準備し長期戦体制を築いており、そのエネルギーには感謝しかなかった。

**【所感、知立市政への反映に向けた課題等】**

予め日程など知っていたが、現場を前にすると言葉を失う場面ばかりであった。全体的に知立市の防災活動がまだまだ不十分で、実際の被災に対応する組織、人の役割分担など多くの課題を強く感じ取った視察研修であった。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。